第３学年　　　道　徳　科　学　習　指　導　案

１　主　題　名　　真心をもって　（Ｂ　礼儀）

２　教　材　名　　「三本のかさ」（「小学道徳　３」教育出版）

３　本時の指導

（１）ねらい

　　３人の傘の返し方について話し合うことを通して、人との関わり方に対する考えを深め、真心をも

って人と接しようとする実践意欲と態度を育てる。

（２）準備・資料　教師・・・傘、場面絵、短冊カード

　　　　　　　　　児童・・・教科書、ワークシート

（３）指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動 | ・留意点　☆教師の支援　**□**評価の視点と方法 |
| つかむ  ５  分 | １　日常生活を振り返る。  みなさんは、かさをかりたら、どうしていますか。    ・　お礼の言葉を言ってから返す。  ・　きれいに乾かして返す。  ・　また使うかもしれないから早く返す。 | ・　日常を振り返り、価値への方向づけをする。  ・　人によって、返し方が異なる場合があるということに気付かせる。 |
| 考える  35分 | ２　教材「三本のかさ」の範読を聞く。  ３人は、どんな思いでかさを返したのでしょう。  ３　３人の傘の返し方に、どのような思いが  こめられているかを考える。   1. 自分ならどの返し方をするかを考え、ワー   クシートに記入する。  ＜なお子さん＞  ・　雨が降るときょう子さんが困るから、すぐに返そう。  ・　きょう子さんに手作りのクッキーを渡して喜ばせたい。  　＜りょうへいさん＞  ・　雨で濡れたまま返すと、きょう子さんが嫌な気持ちになるかもしれない。  ・　きちんとたたんで返すと、きょう子さんも気持ちがいい。  　＜つとむさん＞  ・　ひもが取れそうなので、おばあちゃんに頼んで直してもらって返そう。  ・　返すときは、借りたときより、よい状態にしたい。   1. 少人数で交流する。 2. 全体で交流する。   ・　なお子さんみたいに返したい。はやく返してきょう子さんに喜んでもらいたいから。  ・　りょうへいさんみたいに返したい。かさをしっかり乾かしたら、きょう子さんは嬉しいと思うから。  ・　つとむさんみたいに返したい。貸してもらった時よりも良い状態でかえしたら、きょう子さんは気持ちがいいだろうと思うから。 | ・　登場人物、状況を押さえる。  ・　三者三様の返し方のよさに気付かせるために、どんな思いで返したかについても考えさせる。  ・　自分ごととしてとらえさせる。  ・　机間指導により、児童の考えを把握する。  ☆　なかなか考えがまとまらない児童には、３人の返し方の違いを確かめさせる。  ・　机間指導により、児童の考えを把握する。   * 友達の考えを聞き、友達の考えについて思った   ことも伝えさせる。   * 友達の意見から、思ったことや新たに気付いた   ことについても発表させる。  ・　３人それぞれ返し方は違っていても、傘を貸してくれたきょう子さんに対する共通する思いがあることに気付かせる。   * 傘を返してもらったきょう子さんの思いについ   ても考えさせる。  礼儀正しい行為に対する他者の考え方にふれ、相手の立場やその場の状況に応じた真心の伝え方について、多面的・多角的に考えることができる。　　　　　　　　（ノート・発言） |
| ふりかえる  ５  分 | ４　学習を振り返る。  ・　これからも相手の事を考えて行動したい。  ・　自分も相手もうれしい気持ちになるよう行動することが大切だと気付いた。 | * 今日の授業で考えたことや、気付いたことをワ   ークシートに書かせ、発表させる。  礼儀の大切さについて理解し、相手の立場やその場の状況に応じたふるまいについて、自分との関わりで考えることができる。  （ノート・発言） |